

京成電鉄・新京成電鉄・北総鉄道

(2)京成電鉄・新京成電鉄・北総電鉄		No.2
京成電鉄	新京成電鉄	北総鉄道
昭和21年(1946)	戦後京成沿線の下総台地にあった陸軍施設が民間施設に転用されたが、津田沼にあった鉄道連隊が津田沼を起点に千葉や松戸に演習線を持っていたのに目をつけた京成電鉄は激しい競合の末8月に路線免許を得、10月に新京成電鉄電鉄を設立して新線開拓を推し進めることに。京成電鉄はその筆頭株主。	
昭和21年(1946)		10月23日、会社設立
昭和22年(1947)		12月新津田沼(初代)～薬国台間開業
昭和23年(1948)	4月、市川国不台駅を国府台駅に谷津海岸駅を谷津遊園駅に改称	8月、薬国台～滝不動間開業
昭和24年(1949)		1月、滝不動～鎌ヶ谷大仏間開業 10月、鎌ヶ谷大仏～鎌ヶ谷初富(現初富)間開業。
昭和25年(1950)	7月、京成花輪駅を船橋競馬場駅と改称	
昭和28年(1953)	5月、上野公園駅を京成上野駅に改称 9月、昭和10年(1935)臨時駅として設置された中山競馬場前駅を常設の東中山駅として開業	10月、全線で軌間を1067m/mから1372m/mに改軌。 11月、前原～京成津田沼間開業。2代目新津田沼駅開業と同時に、初代新津田沼～前原間廃止。
昭和30年(1955)	4月21日～8月31日、新京成電鉄が京成千葉駅へ直通運転開始	4月21日、鎌ヶ谷初富～松戸間開業し、全線(京成津田沼～松戸)開業。 4月21日～8月31日、京成千葉駅への直通運転開始。
昭和33年(1958)	2月、京成千葉駅を現在の千葉中央駅の場所に移転し仮営業。 6月から本営業。新千葉～京成千葉間の線路を移転する。	
昭和34年(1959)	10月9日～11月30日、全線の軌間も1372m/mから1435m/m(標準軌)に変更	11月30日、全線の軌間を1372m/mから、1435m/mに改軌
昭和35年(1960)	12月4日、地下鉄都営1号線(現浅草線)が押上～浅草橋間開業。 同日、都営1号線と東中山間で相互直通運転開始。日本で初の公営地下鉄との相互直通運転である。	
昭和36年(1961)		8月、(3代目)新津田沼～前原間開業。2代目新津田沼駅は藤崎台駅と改称。
昭和38年(1963)	12月、船橋競馬場駅をセンター競馬場前駅に改称。	
昭和42年(1967)	12月、国鉄千葉駅前(現京成千葉駅)開業 この年本社が上野から押上に移転。	
昭和43年(1968)	6月、地下鉄浅草線は押上から泉岳寺まで開通し、京浜急行電鉄とも相互直通運転開始。 11月には泉岳寺から西馬込まで延伸し浅草線全線開通。	5月、新津田沼駅が現在地に移転(4代目)。同駅～京成津田沼間開業。前原～藤崎台～京成津田沼間廃止。
昭和47年(1972)		5月10日、北総開発鉄道設立。 京成電鉄が筆頭株主。 当初、千葉ニュータウン建設と密接なつながりがあったが、後に建設計画が縮小され、現在は成田空港へのアクセスとしてまた羽田空港へのアクセスとしても多く利用され
昭和48年(1973)	12月、AE形(初代)という車両を使	

